



都議会
立憲民主党 The Constitutional Democratic Party of Tokyo
都議会レポート Vol.13
東京都議会議員（練馬区選出）

藤井ともり

昭和50年生まれ。慶応義塾大学卒業・銀行勤務・公認会計士・税理士。練馬区議会議員4期。東京都議会議員（現在2期）

賃上げ、家賃補助、 教育・子育て支援を提案

都議会第1回定例会では、令和6年度最終補正予算案を審議・可決し、現在、令和7年度予算案の審議を行っています。

都税収入は、昨年に引き続き好調な法人2税、個人都民税に支えられ、6兆9,296億円＝前年度に比べて5,431億円の増収となりました。

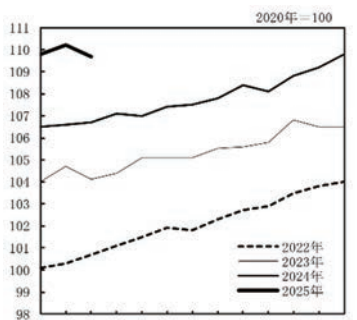
一方、物価高騰で都民生活は、厳しさを増しています。

東京都議会立憲民主党は、物価上昇を上回る賃上げなどについて、知事に予算要望、代表質問を行いました。ここでは、代表質問、予算要望のうち主な内容や予算案に盛り込まれた新規事業・主要事業などを紹介致します。

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせ頂ければ幸いです。

提案:物価上昇を上回る賃上げ

【その結果】 経営展開サポート事業（賃上げ企業への助成率引上げ 最高4/5）:90億円、物価高騰対策:153億円、成長産業へのキャリアシフト等支援事業7億円、産業分野別人材確保・就職促進事業:3億円、年収の壁突破総合対策促進事業:15億円、男女間賃金格差改善促進事業:7億円

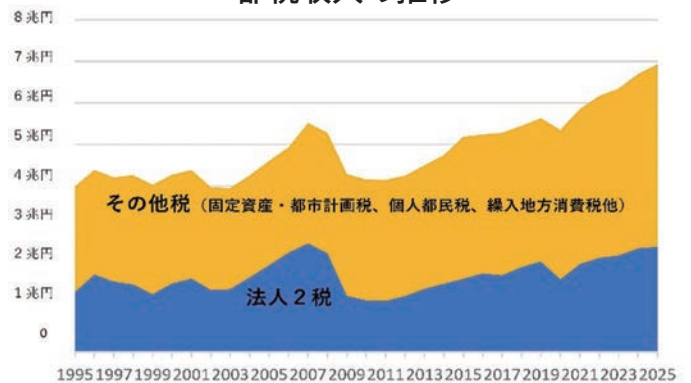


出典:総務省統計局 2025年2月分(中旬速報値)

【+α さらなる提案】

好調な企業収益による
税収増は、格差是正に
使うこと。物価上昇を上
回る賃上げが行われる
ように、知事が先頭に
立って働きかけることを

都税収入の推移



求めています。さらに、円安・物価高の中、競争力のある賃金を示すことができない中小・零細企業は、人手不足と業績悪化の悪循環の危機にあり、経営の伴走支援も必要です。

提案:給付型奨学金制度の創設

【その結果】 奨学金返還支援事業（公立・私立教員、都・区市町村技術系職員、都立大博士課程学生）:3.4億円、都版海外留学制度（大学生）:1億円

【+α さらなる提案】 これまで何年にもわたって求めてきた東京都版給付型奨学金制度。教員確保のため、奨学金返済への支援を強く求めたところ、ようやく東京都が一步を踏み出しました。これは実質的な給付型奨学金とも



言えます。

都議会立憲民主党は、教育は原則として無償であるべきとの理念の下、義務教育・高等学校の完全無償化、大学生向け給付型奨学金の実現を目指して引き続き取り組みます。

提案:受験生チャレンジ支援

【その結果】 受験生チャレンジ支援貸付※:53億円
(塾代20万円→30万円、受験料8万円→12万円にアップ) ※所得制限あり(世帯人数3人で年間、総収入441万円以下、合計所得金額308.7万円以下など。世帯人数によって変わります。)

【+α さらなる提案】 都議会立憲民主党は、子ども・子育て支援に関する東京都の所得制限を撤廃することを求めています。引き続き取り組みを行います。

要望:家賃補助制度の創設

【その結果】 東京都独自の家賃補助制度:0円、ファンドを活用したアフーダブル住宅※の供給促進:100億円、高齢者



いきいき住宅整備事業:2億円、子育てに配慮した住宅の供給促進:56億円 ※手頃な価格の住宅

【+α さらなる提案】 都議会立憲民主党は、若い世代が家を買えない、借りられない東京を変えるため、家賃補助制度の創設を提案しています。また、住宅の環境リフォームや空き家防止などの政策と連携した安価で住みやすい住宅供給の政策の実現を目指しています。不動産価格の高騰で、家賃も高くなっており、ますます喫緊の課題です。

提案:デフリンピックを契機とした社会変革・情報コミュニケーション保障

【その結果】 ユニバーサルコミュニケーションの促進に向けたデフリンピックスクエアでの取組:2億円、コミュニケーション・バリアフリー事業:0.3億円、デジタル技術を活用



した障がい者のスポーツ参加:0.9億円、先端技術を活用したバリアフリー観光推進事業:0.6億円、OpenRoaming対応Wi-Fi整備:27億円

【+α さらなる提案】 日常生活の中で、音声での情報提供は多く、即時性・緊急性の高いものもあります。聞こえない人に伝えるため、音声情報の可視化が必要です。電車内でのアナウンス、ビルやエレベータの火災警報や緊急連絡などの可視化に、引き続き取り組みを行います。

提案:避難所改革・耐震化促進

【その結果】 避難所環境整備、災害時トイレ確保等区市町村支援:10億円、住宅耐震化のための助成制度:6億円(変更点:障がい者世帯への支援策が拡充)

【+α さらなる提案】 震災の時、地震の揺れによる圧死を防ぐ事が、犠牲者をなくす第一歩です。熊本地震、能登半島地震でも、多くの高齢者が家屋倒壊で亡くなり、2000年までに建てられた新耐震住宅でも被害が発生しました。高齢者世帯への手厚い支援策など、誰も取り残さない耐震化を求めています。

提案:ホームドアの整備促進

【その結果】 ホームドア整備加速緊急対策事業:6億円

【+α さらなる提案】 都議会立憲民主党は、新たな工法など補助対象技術拡大、ホームドア設置までの転落感知装置補助など、さらなる積極策を提案しています。

東京都議会議員(練馬区選出・都議会立憲民主党)

藤井とものり

都政へのご意見ご要望をお寄せください!!

事務所連絡先 〒176-0013 練馬区豊玉中4-12-1-102

TEL 03-6821-1329 FAX 03-6683-7481 E-MAIL fujitomo@deluxe.ocn.ne.jp

だれひとり
取り残さない
東京へ

